

令和3年度 第1回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立 四條畷高等学校
校長名	稲葉 剛

開催日時	令和3年 6月 30日 (水) 15:30 ~ 17:00
開催場所	大阪府立四條畷高等学校 東館2階 大会議室
出席者(委員)	田中 保和会長、梅田 和子副会長、鉄 寿広委員、串田 ゆか委員 松浦 慎吾委員
出席者(学校)	稲葉校長、森教頭、竹島事務長、中角首席、浦井首席、藤板教諭、秦教諭 竹中教諭、中西教諭、安川教諭、網代教諭、宮崎教諭、中尾教諭、谷野教諭 内田教諭、植田教諭、峯岸教諭、中村(文責)
傍聴者	なし
協議資料	・令和2年度 学校経営計画及び学校評価 ・令和3年度 学校経営計画及び学校評価 ・2020年度進路状況及び2021年度進路指導計画 ・2021年度GL部活動計画
備考	なし

議題等(次第順)

1. 運営協議会委員紹介
2. 学校長および事務局紹介
3. 会長選出
4. 協議・報告
 - (1)保護者からの意見書
 - (2)「令和2年度学校経営計画及び学校評価」ならびに「令和3年度学校経営計画及び学校評価」について
 - (3)進路状況・進路指導計画について
 - (4)今年度のGL部の活動について
 - (5)その他
5. その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1)保護者からの意見書
なし
- (2)「令和2年度学校経営計画及び学校評価」ならびに「令和3年度学校経営計画及び学校評価」について
 - ・コロナウイルスの影響で学校運営に影響がある中、通常通りに近い生活ができて感謝している一方、感染症対策など先生方のしんどさが心配。【委員】
 - ・キャリア教育がしっかりしている。本当に行きたい大学、行きたい理由が分からない生徒が多い中で、10年後20年後の社会を想定して、必要な教育を考えていく必要がある。その中で、失敗を次につなげる仕掛けづくりや、大学訪問や国際交流などの本物に触れる機会が含まれていてよい。【委員】
 - ・教員の残業時間が多いのが気になる。声掛けだけでは限界ではないか。なにか手立てはないか。【委員】
→複合的な要因があるが、休めるときに休めるように組織の見直し、意識の浸透をしていきたい。【校長】
 - ・人権教育(教員)が課題とはどういうことか。【委員】
→人権HRIは実施しているが、経験の浅い教員が増えている。生徒が差別的な発言をしたときに、教員が気づいて注意できるよう、まずは教員が敏感にならなければならない。その上で、生徒に指導できるようにしていきたい。また、不登校の生徒への支援、学習面のつまずきのフォローなど初期対応が遅い。生徒観察、気づきなど、教員全体で共有しながら対応していきたい。【校長】
- (3)進路状況・進路指導計画について
 - ・進路指導計画で目標が明確化されていて、今なにをすべきかが分かりやすくて良い。
ただし、計画通りにならなかった生徒に対してのフォローはどうしていくか。授業動画との併用などシステム化できればよいのではないかと。多様な生徒への指導をこれからもお願いします。【委員】
 - ・卒業生からの講話などの企画も、具体的な話を聞けるので良い。【委員】
 - ・今年度企画している大学訪問(京都大学、大阪大学)は理系の学部のみなので、法学部、経済学部などの文系の学部でも企画してみてもどうか。【委員】
- (4)今年度のGL部の活動について
 - ・SSH担当の先生の負担が大きくないか心配。【委員】
 - ・国際交流などは良い取り組みではあるが、生徒一人ひとりが自ら取り組むことが重要。全員でやるということが本当にいいか、制約が入ったりもするのではないかと。【委員】

(5)その他

- ・本校では、来年度から始まる観点別評価で課題がまだまだある。中学校ではどのように実施されているか教えて頂きたい。【教頭】
 - 何を見て、何を評価するかまだまだ考えられていないと感じているが、どう評価していくか中学校同士で協議、情報共有する場を設定し、試行錯誤しながら実施している。【委員】
 - 可能であれば、その場に参加させていただきたい。【教頭】
- ・来年の1～3月に北河内地区の学校で、課題研究の交流会を企画している。市立中学校へ案内してきていただきたいと思っています。また、本校の探究ラボの活動で、中学校に出向いて発表できないかと考えている。【教諭】
 - 7月の情報交換会で連絡しておきます。【委員】

以上

次回の会議日程

日時	11月中旬を予定
会場	未定